

本がいっぱい 楽しさいっぱい



お おじいちゃんの水のにおいがした
今森 光彦 作
偕成社

お 湖西で60年以上漁を続けてきた三郎さんの写真物語。そこには、水と生活との深い関わりがありました。



し しっぽをなくしたイルカ
沖繩美ら海水族館フジの物語
岩真 るみこ 著
加藤 文雄 写真
講談社

し 「フジ」というイルカは原因不明の病気で、尾びれを全体の75%切り落とさなくてはならなかった。そこで、プリジストンや造形作家が世界初の人工尾びれ作りに挑戦します。フジは、何回もその人工尾びれを壊してしまいましたが、プリジストンの人たちは熱い思いで何回も作り直してくれました。
(大津市 Y・Mさん)



い いね!
筒井 ともみ 作
ヨシタケ シンスケ 絵
あすなろ書房

い 「いねー!」って思ってたのが自分の周りにいっぱいあれば…楽しいよね。「転ぶ」っていいね!「裸足」っていいねー「えくぼ」っていいね!「だひん」っていいね!「実際にさまざまな「いいねー」がいっぱいつまっています。



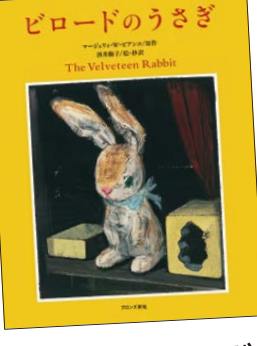
み みえないってどんなこと?
星川 ひろ子 写真・文
岩崎書店

み 目が見えないとどのようなことになるかを、子ども達にいろんな方法で知ってもらおう本です。目が見えないととても大変だということを改めて感じさせられました。
(長浜市 G・Tさん)



か カメくんといもりくん 小雨ぼっこ
いけだ けい 作
高島 純 絵
偕成社

か カメくんといもりくんが大きなのは「ひなたぼっこ」ならぬ「小雨ぼっこ」。川に住むなかまといっしょに過ごす楽しい時間が、いきいきと、ほのぼのとえがけます。作者は草津市在住。



ビ ビロードのうさぎ
マージェリイ・W・ピアンコ 原作
酒井 駒子 絵・抄訳
ブロンズ新社

ビ ビロードでできたウサギのおもちゃは、ぼうやにとても大切にされていました。ところがある日、ぼうやとお別れのときがやってきました。悲しむうさぎでしたが、やさしい奇跡がおこります。



カ カカ・ムラド ~ナカムラのおじさん
ガワフラ 原作
さだ まさし 著
双葉社

カ アフガンでなぞの病気が大流行!! 中村てつという医者がかけつけて、ついに病気の原因がわかる。その病気の正体は…。
(長浜市 K・Hさん)



ぼ ぼくは犬や
ペク・ヒナ 作
長谷川 義史 訳
ブロンズ新社

ぼ 「ひととぼくをグスリとよぶんや。」ぼくはドンドンやその家族とくらしして。朝からずっとうるすばんさせられたら、散歩の時間がうれしくてうれしくて、力いっぱい飛び出した!

か 主人公のてつやは、いつもこんなかあちゃん取扱説明書をつくりまわす。そのなかでかあちゃんの意外な一面が見えたり、改めて家族について考えさせられる本です。
(米原市 S・Kさん)



か かあちゃん取扱説明書
いたう みく 作
佐藤 真紀子 絵
童心社



小 小さな里山をつくる チョウたちの庭
今森 光彦 文・写真
アリス館

小 大津市在住の写真家である作者の今森さんは、75種類ものチョウたちがやってくる庭を30年以上かけてつくってあげました。
「個性的な卵や蛹たち」「冬越しの場所」など、春夏秋冬それぞれのチョウたちの姿や里山の様子が美しい写真とともに紹介されています。



ぼ ぼく モグラ キツネ 馬
チャーリー・マッケジー 著
川村 元氣 訳
飛鳥新社

ぼ モグラ、キツネ、馬。「それぞれの中に、私は自分を見出せる」と作者は言います。お父さんやお母さんといっしょに読んで、どういふことが考えてみてください。勇気が出ますよ。



ソ ソーリ!
演野 京子 作
おとない ちあき 画
くもん出版

ソ ある女の子が「総理大臣になんたい」と言いました。そしたらみんなに笑われました。女の子は総理大臣になる夢は笑われるものだろうかと思ひます。そんな、自分の将来について書かれている物語です。
(東近江市 R・Mさん)



怒 怒りわのトットちゃん
黒柳 徹子 著
いわさき ちひろ 絵
講談社

怒 ちよっぴり変わり者のトットちゃん。でも校長先生は「きみは、ほんとうは、いい子なんだよ」と見守ってくれました。こんな学校があったら行ってみたい! きつとこう思えます。
(米原市 S・Kさん)



星 星空を届けたい
高橋 真理子 文
早川 世誌男 絵
ほるぷ出版

星 病いんで外にでられない人たちのためにプラネタリウムを作ります。ですが、目が見えないこともどうやって見せるのでしょうか。
(東近江市 R・Hさん)



り りんごだんだん
小川 忠博 写真と文
あすなろ書房

り つるつるピカピカのりんごを食器棚の中に置いて観察しました。1年近くたつた時、りんごはどんな姿になっていたのか。
りんごの変わりゆく姿を写真で見てもみませんか。驚くこと、間違いなし!



空 空のふしぎがすべてわかる! すごすぎる天気図鑑
荒木 健太郎 著
KADOKAWA

空 にじ色の雲やあなただけの雲を見たことがありませんか? この本には、これらのめずらしい雲やふしぎな雲がたくおもしろいふしぎが載っています。ぜひおもしろいのでぜひ読んでみてください。
(近江八幡市 Y・Nさん)



ぼ ぼくは満員電車で原爆を浴びた
米澤 銀志 語り
由井 りょう子 文
小学館

ぼ 原爆を浴びたときの話がぼくたちと同じ小学生の目線で書かれているので、戦争のこわさやつらい気持ちがとてもよく分かる本です。
(大津市 H・Fさん)



あ あるかしら書店
ヨシタケ シンスケ 著
ポプラ社

あ この本は、「こんな本が本館にあったらいいな」という本です。みりよくは店のおじさんとお客さんの会話です。お客さんが「…についての本?」あるかしらと聞くと、たいてい「ありますよ」といつて出てきてくれます。また、最後には意外な結末が待っています。
(草津市 K・Kさん)



読 読みがたり 滋賀のむかし話
滋賀県小学校教育研究会
国語部会 編著
日本標準

読 君もむかし話の語り部になろう。
「滋賀県の民話」(偕成社) もあるよ。

マークの見かた

…このお話は、滋賀県のお話です。
…この本を書いた人は、滋賀県の人です。
…この本は、シリーズものです。
…他も読んでみてね。
赤のカルタは滋賀県の小学生がおすすめしている本です。

もっといろいろな本を知りたい人は「**におねっと**」にデジタル版が載っているよ!

「**におねっと**」子ども読書活動支援センターのHPはこちら



におねっと 本がいっぱい